

令和3年度第4回指定管理者審査委員会 議事録（要旨）

日 時 令和3年10月1日（金） 午後1時30分から午後4時30分まで  
 場 所 市役所本庁舎4階第1会議室  
 出席委員 亀倉正彦、関千里、平家勉、上田信子、伊藤三郎（敬称略）  
 欠席委員 なし  
 事務局 石川達也（総合政策部長）、和田徹（同部調整監）、杉田武史（同部次長兼企画政策課長）、安彦直美（同課課長補佐）、山浦勝義（同課企画経営係長）、中根友樹（同課企画経営係主事）

説明の為に出席した者 市川秋広（学習教育部長）、與語隆弘（生涯学習課長）

傍 聴 不可（日進市情報公開条例第7条第6号に該当する事項を審議するため。）

議 題 (1) 日進市生涯学習プラザの指定管理者の候補者の審査（第2次審査）について

発 言 者	内 容
	1 開会
	2 あいさつ
事務局	それでは、進行を委員長にお願いします。
委員長	会議の非公開の可否について諮る。
委員	（異議なし）
	3 議題 (1) 日進市生涯学習プラザの指定管理者の候補者の審査（第2次審査）について
申請者①	（事業提案書に基づきプレゼンテーション及び質疑応答）
	（主な質疑応答） 質問：現指定管理者の自主事業を倍にするとの提案があるが、この施設は貸し利用の部分と、利用のない時間に自主講座を開催して運営していく部分があると思われるが、どのような考え方の下に講座数の設定をしているのか。 回答：貸館の利用率についてはコロナ禍において、どの程度回復するか分からない。その中で様々な自治体において、講座の開催は回復傾向にある。自社で指定管理者として管理している施設でも自主事業や講座は再開しており、コロナ禍前の参加者の割合に近づいている。既存の講座に加え、他の施設で実施している講座や新たに企画する講座も実施できる余地があると考えている。講座を増やすことによって、コロナ禍で下がっている利用率を補填していくというのが今回の提案となっている。 質問：2階建ての施設であるがエレベーターがないため、車いす利用者が来たときはどのような対応となるか。 回答：支援が必要な方への配慮については、この施設がバリアフリー的に不自由な構造であると認識している。車いす利用者が2階に上がることはできないと思っている。また、2階へ上がることを介助することも難しいと考えている。提案としては、1階で新規講座を積極的に行う等、2階に上がらなくても参加

発 言 者	内 容
	<p>できる講座をしっかりと検討して実施できればと考えている。手すり等を付けることも検討したが、スペースの問題で難しいと考えている。</p> <p>質問：生涯学習施設の中で、生涯学習プラザは市民会館を補完する施設であるという視点もあるが、他社が管理している市民会館との連携はどのように考えているか。また逆に差別化していくというような考えはあるか。</p> <p>回答：市民会館と生涯学習プラザの立ち位置としては、メインは市民会館でありたくさんの講座が開催されていると考えている。今回提案している自主事業の講座は、市民会館で開催されていないものとなっており、当社としては、市民会館を補完するものという意味もあるが、多少の差別化を図りたいと考えている。市民会館の管理者との連携については、どのようにしたらお互いの施設がより良くなるかというところに、ベクトルを合わせて話し合いの場を設けていきたいと考えている。その中で出てきた意見をしっかりと反映していきたい。</p> <p>質問：利用料金設定についてはどのように考えているか。</p> <p>回答：現在の指定管理者の設定料金を参考に、同程度の料金設定を考えている。</p> <p>質問：多くの講座が開講されているため、同様の講座を開催する場合の料金体系について考えていることはあるか。</p> <p>回答：基本的に、他の生涯学習講座とは重複しない講座を開講していこうと考えている。現在開講されている講座の講師と打合せをし、カリキュラムが重複しないように工夫していく。</p> <p>質問：他施設と講師の取り合いにならないか。</p> <p>回答：取り合いになるような想定はしていない。市内・市外在住に関わらず多くの方が講師をしているため、そのような人を招いて講座を開催したいと考えている。</p> <p>質問：多数の講座がある中で、強化していきたいと考えているものはあるか。</p> <p>回答：特にやっていきたいのはIT関連講座である。市内で開催されている講座は他自治体と比べると、IT関連講座が少ないと感じている。近隣では市民が講師になってIT関連講座が活発に実施されているため、初年度からこれに関する講座を実施していきたいと考えている。</p> <p>質問：地域との連携について、これまでの実績から、具体的に特にこれを提案したいというものはあるか。</p> <p>回答：これまでの実績はあくまでも参考として見てもらい、今後はあらゆる部分について連携を図っていければと考えている。具体的には市民が楽しめて、参加して良かったと感じられ、日進市に住んでいて良かったと思えるような講座を生涯学習プラザで開催したいと考えている。</p> <p>質問：施設利用の許可について、課題や今後の方向性などの考えはあるか。</p> <p>回答：実務に関しては見えない部分があるが、接遇に関しては、改善していける余地があると考えている。また、特定の団体の優遇利用や個人のひいきとなるようなことがないように、監査を実施していきたいと考えている。</p>

発 言 者	内 容
	<p>質問：自主事業収入の初年度の見込はどのように算定しているか。</p> <p>回答：本年度と同程度になると考えている。</p> <p>質問：施設の設置目的にある個性豊かな地域文化を創造するということに対して、日進市の個性豊かな地域文化とは、どのようなものが考えられるか。</p> <p>回答：日進市には多くの市民活動団体や市民活動家がいる。そのような人たちは、日進市をもっと良くして、他市町にも日進市をPRしたいと考えて活動している。そのような人は生涯学習プラザではなく、違うフィールドで活動していることが多いため、生涯学習プラザでの活動を勧めて、市民が楽しく集まれる機会を増やしてもらいたいと考えている。具体的には日進市の自然の豊かさや農産物のPRをしたり、各地域のお祭りなどの文化を継承する機会としたりする活動に利用してもらいたいと考えている。また、昔からある伝統行事をベースにして、日進市の新しい文化を進めていきたいと考えている。</p>
日進アシスト株式会社	(事業提案書に基づきプレゼンテーション及び質疑応答)
	<p>(主な質疑応答)</p> <p>質問：施設の有効活用に関して、有料のワーキング・勉強スペースの開設については、貸館の利用があつて、その空いた時間に自主講座を開催し、それでも空きがある場合に開設するということか。</p> <p>回答：生涯学習プラザは、昼間の定期利用が多く、夜間は比較的空いている。現在でも空いた時間を活用して自主講座を開催しているが、それ以外でも空いている時間帯はあるため、その時間の活用として、2階の研修室や学習室を学習スペースとして貸し出しできたらと考えている。</p> <p>質問：空き時間に開催するということは不定期に開催するということか。</p> <p>回答：極力定期的に開催できるようにしたいと考えているが、定期的な貸館利用もあるため、それを妨げないように開催したいと考えている。空き状況については、SNSやホームページを利用してPRしていきたいと考えている。</p> <p>質問：本施設は2階建てでエレベーターがないが、足の不自由な人や車いす利用者への対応はどのようにしているか。</p> <p>回答：車いす利用者は、1階の利用が多かった。車いす利用者で2階を利用する人はいなかった。足の不自由な人や、荷物などを多く持っている人が2階へ上がる時は、職員が荷物を運んだり、片側について階段を一緒に上がったりする対応をしている。</p> <p>質問：人員配置について、採用は4名で、シフトを組むので、常時配置するのが2名ということでしょうか。</p> <p>回答：そのような配置になっている。</p> <p>質問：平均稼働率を約3パーセント向上させるとあるが、目標の設定として「約」という表現は曖昧で不適切ではないか。</p> <p>回答：記載としては適切ではなかったかと思われるが、意図としては3パーセント以上の向上を目指すという意味である。</p>

発 言 者	内 容
	<p>質問：安心・安全という表現があるが、安全であるから安心できるという考え方に対してどのように考えているか。</p> <p>回答：記載はそうになっているが、意味するところは、安全だから安心な施設であるということである。</p> <p>質問：SDGs について目標の記載はあるが、それぞれの活動が、どのターゲットに該当するかまでは考えているか。</p> <p>回答：SDGs については、生涯学習プラザは生涯学習施設であるため、17 の目標のうち「すべての人に健康と福祉を」、「質の高い教育をみんなに」、「働きがいも成長も」、「住み続けられるまちづくりを」を重視して取り組んでいきたいと考えている。各目標への具体的な取組としては、こども食堂、様々なジャンルの自主講座の実施、スタッフや講師の地域からの創出、障害の有無に関係なく参加できる講座の開催などを考えている。</p> <p>質問：仲間づくりができるものとして自主講座のサークル化の提案があるが、詳細を聞きたい。</p> <p>回答：自主事業を開催することで、そこで仲間を作ってもらうことを考えている。自主事業開催後は、催しから自分たちで運営していき、サークルバンクの登録を通して、そこから仲間づくりを広げていってもらいたいと考えている。</p> <p>質問：どのようにしたらサークルは出来上がっていくのか。</p> <p>回答：サークルができる過程としては、参加する人の意思が大事だと思っているので、基本的には意思を尊重してサークル化をしていく。例えば 30 名程度の講座を開催した場合に、その中の何名かが引き続きやっていきたいという意思を持っていれば、講師との調整を行うなどしてサークル化する支援を行っていく。</p> <p>質問：指定管理者が開催する自主講座とは別に、利用者側から生まれてくるような自主的なサークルのような講座を、講師と調整し開催して増やしていくというものか。</p> <p>回答：参加した人たちが続けていきたいと思うような講座を開催するのが、われわれの仕事だと考えている。そのようなことを加味して、講座づくりに適した講師の選出、参加しやすい金額の設定等をして、開催を計画している。</p> <p>質問：仲間づくりに関して、そのような講座に参加した人に任せて仲間づくりをしてもらうのか、例えばそこにオンラインのツールを導入する等して、積極的に作り上げていくというようなものとか、何か考えがあるか。</p> <p>回答：この 1 年間、コロナ禍において、試行錯誤しながら講座を開催してきた。他施設ではオンラインを活用した講座も実施しているので、それを応用して生涯学習プラザでも活用できたらと考えている。例えば夜間の講座について、講師には施設に来てもらい、参加者も来られる人には来てもらうが、来られない人は自宅から参加してもらうというようなミックスしたやり方が、生涯学習プラザには合っているのではないかと考えている。</p> <p>質問：施設の設置目的にある個性豊かな地域文化を創造するということに対して、</p>

発 言 者	内 容
	<p>日進市の個性豊かな地域文化とは、どのようなものが考えられるか。</p> <p>回答：日進市には、子育て世帯、高齢世帯等、様々な人が住んでいるが、全ての人が気兼ねなく参加できる催しをするのが、我々の使命かと感じている。そこに伝統的なものを入れるとすれば、棒の手の会場、太鼓や笛などの練習に生涯学習プラザを利用してもらえば、伝統に即した催しが開催できるのではないかと考えている。</p> <p>質問：自主事業の講座を開催する場合は施設利用料を支払っているのか。</p> <p>回答：全ての講座に関して施設利用料を支払っている。</p> <p>質問：収入は、利用者からの講座の参加料、貸館の利用料、自主講座開催の際の指定管理者が支払う利用料を見込んで算出しているという理解でよいか。</p> <p>回答：そのとおりである。</p> <p>質問：修繕について、他社に依頼せずに自社でできることはやっていくという方向性は持っているか。</p> <p>回答：現在の管理でも、自社の社員で対応できる簡易な修繕は実施している。ただ、電気工事や資格が必要な業者の力が必要なものは依頼している。</p> <p>質問：最終的には何パーセントまで稼働率を上げる予定か。</p> <p>回答：最終的には60パーセントぐらいを目標にしている。</p> <p>審査の後、答申を実施した。</p> <p>(閉会 午後4時30分)</p>